

# E-FIELD

Education For Implementing End-of-Life Discussion

STEP3

「患者自身の考えを推定する」

# 講義

- 患者が自らの意思決定に関与することが困難な場合、患者自身の考えや選好を推定する方法を学ぶ

# 到達目標

- 患者自身の明確な意思が確認できないとき、推定意思を知る方法について知る

# 「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」 方針決定の流れ（イメージ図）

人生の最終段階における医療およびケアについては、医師等の医療従事者から適切な情報の提供と説明がなされ、それに基づいて患者が医療従事者と話し合いを行い、患者本人による決定を基本として進めることが最も重要な原則



患者の意思が  
確認できる

患者と医療従事者とが十分に話し合い、  
患者が意思決定を行う



人生の最終段階における  
医療とケアの方針決定

十分な  
情報の  
提供

家族が患者の  
意思を推定できる

STEP3

患者の推定意思を尊重し、  
患者にとって最善の治療方針をとる



患者の意思が  
確認できない

- ・ 家族が患者の意思を推定できない
- ・ 家族がいない

患者にとって最善の治療方針を、  
医療・ケアチームで慎重に判断  
(※家族がいる場合は十分に話し合う)



- ・ 病態などにより医療内容の決定が困難
- ・ 家族の中で意見がまとまらないなどの場合

→ 複数の専門家で構成する委員会を設置し、治療方針の検討や助言



## 医学的適応

- 診断と予後
- 目標の確認
- 治療等がアウトカムに与える効果
- 治療等が与える有害性
- 医学的無益性

## 患者の選好

- 患者の判断能力
- 医療に対する見解
- 理解と納得
- 人生観
- 生活で大切にしているもの
- 事前の意思表示
- 代行判断者

## QOL

- 心理状態
- 様々なレベルと側面での痛み
- 安楽
- 幸福
- 自己価値観

## 周囲の状況

- 家族や利害関係者
- 守秘義務
- 経済的問題
- 施設の資源や方針
- 診療チームの状況
- 法律、宗教

# 推定意思を知る

A 現時点での、患者自身の、直接的な言語表現



B 過去の、患者自身の、  
直接的な言語表現

C 現時点での、患者自身の、  
間接的な表現



D 過去の、患者自身の、間接的な表現

## A.現時点での、患者自身の、直接的な言語表現

- 常に患者が自分自身の選好を何らかの形で表現できる機会はあると考える
- 合理的判断が可能な状況においてはもっとも強い根拠
- 合理的で自由な選好を何らかの形で表現できる環境を整える
- 誘導的な操作を行わない

## B.過去の、患者自身の、直接的な言語表現

- Advance Care Planning
- 明記されたAdvance Directive
- メモや録音記録
- かかりつけ医の証言（やや間接的）
- 家族の証言（やや間接的）



## C.現時点での、患者自身の、間接的な表現

- 侵襲的なケアの一時的な拒否は、誰でもある
  - 身体拘束
  - 吸痰の拒否
  - 経鼻チューブの抜去
- 再現性を観察する
- 抑うつやせん妄などの影響について考慮する

## D.過去の、患者自身の、間接的な表現

- 自由に対する考え方
- 死や、死にゆくことに関する考え方
- 医療や健康に対する考え方
- 医療や健康サービスへのアクセス
- 家族などから見た印象や理解
- 「延命治療」等のテーマに関するエピソード

# 患者の背景とナラティブ

- 医療に対する見解
  - 医療に対する期待
  - 診療アドヒアランス
- 文化的背景
  - 信仰
  - 伝統や家族内、地域内での慣習
- 人生観
  - 死生観
- 人間関係
  - 家族との関係
  - 友人や、近隣との関係
- 経済状態
  - 介護保険、年金
  - 生活の継続に対する不安

# 家族の声：患者の最善利益の 査定において家族がもつ2つの役割

- 患者の声を代弁するもの
  - 「患者自身は、どのようにお考えだと思われませんか？」
- 患者のことを大切に感じ、世話するものとしての意向を表現するもの
  - 「ご家族としては、どのようなお気持ちでしょうか？」

# 家族とは

- 「患者の最善の利益」を尊重する立場に立つ場合は、民法上の「家族」よりは、患者の考える「家族」を「家族」ととらえる。
- 家族であるために重要なこと
  - 困ったときに助け合う
  - 精神的なきずながある
  - お互いにありのままにいられる
  - 血のつながりがある
  - 日常生活を共にする

(出典) [国立社会保障・人口問題研究所「第5回全国家庭動向調査」](#)